

ごみ分別マスコットキャラクター 「エコひまちゃん」通信



問い合わせ

環境生活課廃棄物対策係

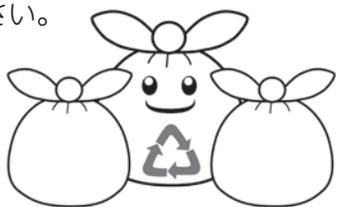
☎01654③2111(内線3123)

多量のごみ袋を出す場合の注意点

家庭ごみの計画収集は、日常生活から排出されるごみの量を想定しているため、引っ越しや大掃除、遺品整理などで多量のごみが出される場合は、その日の収集作業に影響が出る可能性がありますので、次のとおりご協力をお願いします。

- ① 一度に出さず翌週以降に分けて出す
- ② ごみ処理施設に直接搬入する

やむを得ず、一度に多量のごみ袋を出すときは、前日までに環境生活課廃棄物対策係までご連絡ください。



市内事業者の方へ ～事業系ごみの適切な排出について～

市内事業所から排出される事業系ごみは、市HPに掲載の「**名寄市事業系ごみ分別排出マニュアル**」を参考に適正な排出をお願いします。名寄地区広域最終処分場や市リサイクルセンターは、このマニュアルで分別方法を確認したうえでご利用ください。



▲こちらから
マニュアルを
確認できます

産業廃棄物は搬入できません。

事業系ごみの処理を一般廃棄物収集運搬業者に委託し各施設に搬入する場合も、マニュアルに沿って分別し、委託の場合も、排出した事業者が最後まで責任をもって処理を確認しなければなりません。

また、市指定ごみ袋(炭化ごみ2種類・埋立ごみ)は家庭ごみの排出のみ使用できるもので、事業系ごみの排出には使用できません。

一般廃棄物に関する疑問は、環境生活課廃棄物対策係まで問い合わせください。

COLUMN*

|VOL.49|

なよろっぽい家づくりの会*



住まいの省エネ・エコについて②

今月もCO₂排出削減促進事業に関し、建築資材も『省エネ&エコ』に繋がり、二酸化炭素排出の削減に貢献している材料や工法などを紹介します。

今回は、国内企業の塗料の紹介です。「塗るだけで省エネ&エコに繋がる」というキャッチフレーズに開発され、実証試験を繰り返しながら製造を行っており、販売実績を伸ばしております。その企業のコンセプトは「建物の温度を下げることは、地球の温度を下げる近道」と称し、高日射反応率の高い屋根用塗料として、関東以西を中心に販売実績を伸ばしていますが、まさに環境配慮をされた製品だと思います。この塗料の特性としては、太陽から注がれる赤外線を吸収せず反射してしまうことです。

通常、太陽光(赤外線)が物質(物体)に当たると、その物質に吸収され分子振動を起こり発熱してしまいます。つまり、温度が上がってしまうことになる

訳ですが、この塗料を使用することで、赤外線が反射されますので、屋根の温度上昇を抑える事になります。そのことにより、建物内部の温度上昇を抑制させるのです。建物内部の電気エネルギーはもちろんのこと、空調設備の稼働率も抑えて、二酸化炭素排出量の削減に繋がる塗料といえます。

今回は色と熱の関係についてお話します。この塗料でのお話でもありますが、色によって熱がこもりやすい・にくいがあるのです。住宅など各建物の屋根の色は、街並に合わせたり個人個人の好みがあると思いますが、ぜひ読んでみてください。



■問い合わせ なよろっぽい家づくりの会事務局
(NPO法人なよろ観光まちづくり協会内)
☎01654⑨6711